

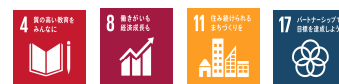


特に応援をお願いしたい7つの地方創生プロジェクト

1. 地域の将来を担い支える若者の人材育成・確保プロジェクト
2. Society5.0へ向けた次世代人財創造プロジェクト
3. 次代に紡ぐ『長崎百年の計』まちづくりプロジェクト
4. 長崎の世界遺産を未来につなぐプロジェクト
5. スポーツ&アートで『つながるナガサキ』プロジェクト
6. ながさきのしま活性化プロジェクト
7. 日本の最西端ながさきを目指す 産品輸出・振興プロジェクト



1 地域の将来を担い支える 若者の人材育成・確保プロジェクト



全国より約50年早く人口減少が始まった長崎県では、人口減少対策を最重要課題と位置づけ、様々な取組を推進していますが、一部離島地域で人口の社会減の改善が見られるものの、人口減少に歯止めをかけるまでには至っていません。

県では、地域の将来を担い支える若者の人材育成・確保に取り組むとともに、県外転出者等を含めたUIターンの取組を県内全市町と連携して促進します。

○産業人材の確保・定着のための奨学金返済支援

将来の地域産業を担うリーダーとなる人材の確保・定着を図るため、県と産業界で基金を造成し、大学等を卒業後に対象業種の県内企業に一定期間就業した学生の奨学金返済を支援します。



県内企業と学生の交流会



ふるさと教育

○県内中学生・高校生の「ふるさと教育」

地域課題解決型の探究学習を推進し、郷土長崎に愛着と誇りを持ち、地域を担おうとする人材を育みます。

○地方回帰の動きを捉えたUIターンの促進等

東京一極集中の是正や新型コロナウイルス感染症の影響等による地方回帰の動きも捉え、本県の魅力や暮らしやすさ等をPRするとともに、県内全市町と一体となってUIターンを促進します。

また、リモートワーク・ワーケーションなど、関係人口の創出・拡大にも取り組みます。



ながさき移住サポートセンター

2 Society5.0へ向けた次世代人材創造プロジェクト



全国に先んじて人口減少・少子高齢化が進行している長崎県だからこそ、新たな視点を取り込みながら、産業を支える人材不足など想定される諸課題にいち早く対応し、持続可能な地域社会を構築することが重要です。

そのため、情報セキュリティ人材を育成するとともに、経済的発展と地域課題の解決を目指して、デジタル化やDXをはじめとするSociety5.0社会の実現に向けた施策を加速化します。

○「情報セキュリティ産学共同研究センター(仮称)」の整備と人材の育成等

全国初の情報セキュリティ学科を有する長崎県立大学において、情報セキュリティ分野における産学官連携の拠点となるセンターを整備し、企業との共同研究等を推進するとともに、即戦力となる高度専門人材の育成と県内産業の振興を図ります。



情報セキュリティ演習室

○長崎県立大学佐世保校の整備と実践的教育の推進

校舎建替えによる教育環境の充実を図るとともに、県内企業での長期インターンシップや「しま」でのフィールドワークなど地域に根ざした実践的教育により、地域を支える人材、主体性や課題発見力などを備えた人材の育成に取り組みます。



長崎県立大学佐世保校キャンパス整備イメージ

○県内中小企業のDX促進・1次産業のスマート化

県内事業者のDX推進への意識醸成を図り、デジタル技術を活用して生産性向上や新たな付加価値を創出するための取組を支援します。

また、本県の重要な基幹産業である農林水産業についても、生産性の向上・労働環境の改善を図るため、スマート農林水産業を推進します。



ドローンによる病害虫防除

3 次代に紡ぐ『長崎百年の計』まちづくりプロジェクト



長崎県は「まち」の佇まいが大きく変わり、まさに100年に一度の大きな変革の時期を迎えています。令和4年秋には西九州新幹線の開業が予定されています。この変化をチャンスと捉え、さらなる地域活性化を図り、魅力あるまちづくりを推進します。

○新幹線開業効果の拡大

令和4年秋に予定されている西九州新幹線(武雄温泉~長崎)の開業に向けて、その効果を最大限に高めるため、地域の魅力づくりやおもてなしの準備など、官民一体となって受入体制を構築します。

また、JRグループや佐賀県等と連携し、「佐賀・長崎デスティネーションキャンペーン」の開催準備を進めます。



新幹線開業PR
キャッチコピー&ロゴマーク



西九州新幹線「かもめ」N700S

○ユニバーサルツーリズムの推進

誰もが旅の楽しみを共有できる長崎県を目指して、ユニバーサルツーリズムを推進します。

○長崎空港の24時間化

長崎空港の24時間化を目指し、官民連携した取組を推進します。



ユニバーサルツーリズム



長崎空港

【今後見込まれる事業】

- ・長崎スタジアムシティプロジェクトと連携したまちづくり等

4 長崎の世界遺産を未来につなぐプロジェクト



2つの世界遺産「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」と「明治日本の産業革命遺産」を世界と未来につないでいくため、資産の保全や、情報発信・受入態勢の充実等に取り組みます。

○資産の保全

「潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産の多くは、人口減少や高齢化が進む離島・半島地域にあり、修復費用の負担が大きな課題となっています。そこで、民間からもご支援をいただきながら、修復費用の助成を行っています。



修復工事を終えた黒島天主堂(佐世保市)



ガイドの育成

○情報発信等

構成資産の情報発信や保護意識の醸成に取り組むとともに、受入態勢を充実させ、世界遺産価値の共感による満足度や再来訪意欲の向上に取り組みます。

5 スポーツ&アートで『つながるナガサキ』プロジェクト



プロスポーツチームの「V・ファーレン長崎」や新たに誕生した「長崎ヴェルカ」と連携した地域の賑わいづくりを進めます。

また、県内各地においても、地域の特色を活かしたスポーツイベントやコンサート・芸術祭などの開催を通じて、交流人口や関係人口の拡大を図り、地域の活性化を推進します。

○V・ファーレン長崎と長崎ヴェルカを応援

本県に拠点を置く2つのプロスポーツチームを県民応援フェアの開催等により応援するとともに、アウェイゲームにおけるPR等によりアウェイ客の誘致を促進します。



V・ファーレン長崎応援

○アウトドアスポーツツーリズム等の推進

サイクルツーリズムの推進や本明川ボート練習場の活用など、本県の特性を活かしたアウトドアスポーツツーリズムの拡大やスポーツ合宿等の誘致に取り組みます。

また、県立スポーツ施設の補修・改修によるスポーツ環境の充実を図ります。



アウトドアスポーツ

○県内各地域で芸術祭を開催

地元市町と一体となり、県内各地域で芸術祭を開催します。若者が地域住民と一緒に企画・運営・交流する機会を創出するほか、本県ゆかりのクリエイターを介した都市部と地域住民との交流を促進します。

○障害者スポーツ・芸術祭を開催

選手・指導者の育成、スポーツ大会の開催、芸術関係の指導者等の育成や作品展開催などを支援します。



長崎しまの国際芸術祭
～東京藝術大学と五島市民による合同演奏

6 ながさきのしま 活性化プロジェクト



全国一の離島県である本県では、平成29年の「有人国境離島法」の施行を契機に、雇用機会の拡充をはじめ法律に基づく新たな施策の積極的な活用によって、これまでに人口の社会減が大きく改善するなどの成果が現われています。

この取組とあわせて、各種の取組により、しまの活性化をさらに推進します。

○しまの産品振興による地域活性化

食品流通専門の団体と連携しながら、消費者視点を重視した官民一体となったプロジェクトを展開します。

○海洋エネルギーの導入促進

広大な海域に囲まれた本県では、海洋エネルギー関連産業を新たな基幹産業とするため、実証事業の誘致や技術開発支援、専門人材の育成に産学官連携で取り組んでいます。

○高校生の離島留学の充実

「しま」の豊かな自然や文化の中で学習や部活動に取り組み、充実した高校生活を送ってもらうことを目的に「離島留学制度」を設けています。

○しまの人材確保

雇用機会拡大に取り組む事業者の島外からの人材確保を支援します。

また、離島地域の医療を担う医師や看護師の養成・確保に取り組めます。



アカムツ(対馬市)、ゆず(苓崎市)、五島市沖浮体式洋上風力発電「はえんかぜ」
五島手延うどん(新上五島町)、きびなご(五島市)



五島高校スポーツコース

離島の医療人材の確保

7 日本の最西端ながさきを目指す 産品輸出・振興プロジェクト



アジアに近接する本県の地理的条件を活かし、海外需要を取り込むため、長崎県の基幹産業である農林水産業をはじめとした県産品の輸出拡大を推進することにより、地場産業の活性化による新たな雇用の機会を生み出すことを目指します。

また、国内においても、アンテナショップ「日本橋 長崎館」を拠点に、本県の歴史・文化、観光、食などの魅力を総合的に発信するとともに、県産品のブランド化・販路開拓を推進します。

○農水産物・県産品の輸出拡大

アジア地域を中心に、県産品のブランド化及び販路拡大を図るため、総合フェア等を開催するとともに、新たな販路拡大を図るための取組等を推進します。

○「日本橋 長崎館」での魅力発信等

店舗内におけるテストマーケティングの実施等により首都圏消費者のニーズを把握し、県産品のブランド化・販路開拓の取組等を推進します。



中国での展示商談会(水産物)

タイでの長崎フェア(農産物)



アンテナショップ「日本橋 長崎館」